

町では「新荒砥橋建設促進期成同盟会」を組織し、早期の整備を要望しています。これまでの要望により、昨年度までに、地質調査、路線測量、道路詳細設計、橋梁詳細設計、用地調査、用地補償等が行われています。町にとって喫緊の重要課題である荒砥橋整備の事業推進についてを、重要事業として引き続き要望していきます。



▲老朽化も進み、早期の整備が望まれる荒砥橋

**⑦国道287号(菖蒲・下山地内)の早期着工**

町の重要幹線道路である国道287号の菖蒲地内・下山地内は幅員が狭く、急カーブ

が存在しています。幹線道路としての機能を阻害している菖蒲地内・下山地内の区間改修の早期着工に向けて、引き続き要望していきます。



▲急カーブがある国道287号菖蒲地内

**⑧長井く白鷹間の西廻り幹線道路調査の早期着工**

長井南バイパス、長井市泉地内を起点として、長井市の西部地区を通り白鷹町鮎貝地区に至る区間は、白鷹町の西部から公立置賜総合病院までの最短ルートです。救急救命時への対応や置賜生活圏30分構想と連携するための重要な路線です。路線の調査などの早期の整備を要望しています。

**⑨平成25年7月豪雨災害の県単独河川・砂防事業の推進**

昨年7月の豪雨での山間地の土砂崩壊等により、河川に土砂が堆積し河床が上昇、浸水被害の危険性が高まるとともに、下流部では農地の取排水が困難になり営農にも影響が及んでいます。荒廃状況の調査と危険箇所の再点検を実施し、砂防ダムの整備や法面保護などの恒久的、抜本的な土砂災害対策と浚渫等による河川機能の回復について要望していきます。



▲昨年7月の豪雨により土砂が堆積した大石沢

**⑩峰岸地区砂防自然災害防止事業(急傾斜)の早期着工**

峰岸地区は荒砥駅前八乙女八幡神社北部に位置し、昨年7月豪雨の際にも小規模な土砂崩落が発生した急傾斜地崩壊危険箇所です。周辺には民家や公民館、駅などがあり社会的影響が大きい箇所であることから、大規模な土砂災害を未然に防止するため、事業の早期着工を要望していきます。



▲昨年7月の峰岸地区の土砂崩落

**重要事業要望活動始まる**

これらの町重要事業については、国や県等の行政機関をはじめ、地元選出議員等に対し内容を説明し、事業推進への支援をお願いしています。

6月2日には、町議会の青木議長、遠藤副議長同席の中で、佐藤町長より小池克敏県議(西置賜郡選挙区)に対して町重要事業要望書を手渡し事業内容を説明するとともに、特に県関連事業の推進について要望を行いました。



小池克敏県議(写真左)に要望書を手渡し佐藤町長

■重要事業要望に関する問い合わせ  
 総務課企画室企画調整係  
 ☎ 8516123